

第137回

# 川崎市定期能

宴シリーズ第三弾

華やぎ、悲しみ、駆け引き  
能に映し出される「宴」のさきみどり

## 第一部

12時30分開場  
13時00分開演

狂言 文蔵 山本泰太郎(大蔵流)  
能 俊寛 観世恭秀(観世流)



能「千手」岡本房雄  
撮影：前島吉裕



能「俊寛」観世恭秀  
撮影：前島吉裕

## 第二部

15時00分開場  
15時30分開演

狂言 磁石 山本泰太郎(大蔵流)  
能 千手 岡本房雄(観世流)

野曲之舞

2026年

3月14日(土)

会場：川崎能楽堂

入場料(全席指定)：各部 正面席5,000円、脇正面・中正面席4,500円 | U25 3,000円\*

●チケット発売 2026年 1月26日(日) 10:00より発売

\*協正面、中正面エリアのみ選択可。  
25歳以下の方。

販売方法 ※取扱い座席は全て共通	電話申込	①川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 (10:00~17:00、水曜定休日) ②カンフェティ TEL.050-3092-0051 (平日10:00~17:00) *②は席種のみ指定可。座席選択はできません。 *①・②共にセブンイレブンでの支払・受取です。別途システム利用料、決済手数料、発券手数料が掛かります。
	インターネット申込	カンフェティ GETTIIS <a href="https://www.confetti-web.com/@/kbz_noh137">https://www.confetti-web.com/@/kbz_noh137</a> *支払は、クレジットカード、セブンイレブン支払が選択できます。 *チケット受取は、セブンイレブン受取、チケットれすQ(電子チケット)が選択できます。 *別途システム利用料、決済手数料、発券手数料が掛かります。
	窓口申込 ※1月27日から	川崎能楽堂 川崎市川崎区日進町1-37 (10:00~17:00、水曜定休日) *残数があれば1月27日(火)10:00より販売いたします。 *支払いは現金のみになります。



カンフェティ



公演の詳細はこちら

\*開演後はご入場いただけない場合がございます。また、都合により、日時・内容・出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。

主催：公益財団法人 川崎市文化財団  
〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 電話.044-272-7366 FAX.044-544-9647  
後援：「音楽のまち・かわさき」推進協議会

## 川崎市定期能 事前講座

日時：3月7日(土) 13:30~15:00 ◆受付開始は13:00~  
会場：川崎能楽堂  
講師：公演出演能楽師  
料金：500円  
※第137回川崎市定期能のチケット購入者は無料



事前講座  
申込フォーム

上演演目や「酒宴」と能の関係などを能楽師がやさしく解説。  
初心者の方にもおすすめです。

# 第一部

13時00分開演(12時30分開場)

14時50分頃終演

## 狂言 文蔵

シテ主人 山本泰太郎

アド 太郎冠者 山本凜太郎

ツレ 成経 武田 祥照  
ツレ 康頼 北浪 貴裕

シテ 俊寛 観世 恭秀

## 能 俊寛

ワキ 赦免使 則久 英志

大鼓 柿原 弘和  
小鼓 鶴澤洋太郎

笛 成田 寛人

アイ 船頭 山本 則孝

後見 武田 尚浩  
寺井 榮

地謡 木原 康太 勝海 登  
高梨 万里 浅見 重好  
金子 聡哉 関根 知孝  
新江 和人 木原 康之

◇ あらすじ

## 狂言 文蔵 (ぶんぞう)

無断で旅に出た太郎冠者(アド)を叱りにきた主人(シテ)は、冠者が京都見物にいった主人の伯父のところへ挨拶に立ち寄ったというので許します。そこで珍しい物を振る舞われたと言うので、それは何かと聞くと冠者は忘れたと言います。なんとか思い出させようと、主人は思いつくまま、いろいろな食べ物の名をあげますが……。

## 宴 シリーズ公演

### 能 俊寛 (しゅんかん)

平家討伐の陰謀が露見し、俊寛僧都(シテ)、平判官康頼(ツレ)、丹波少将成経(ツレ)の三人は、九州薩摩湯の鬼界ヶ島に流されます。その後、中宮徳子御安産の祈祷の大赦が行われ、康頼と成経の二人だけが許されることになり、その免使い(ワキ)を乗せた船が島に到着します。俊寛は赦免状を康頼に読ませますが、自分の名前がないので驚き、何かの間違いではないかと疑います。ついで自分でも読んでみますが、やはり俊寛という名前はなく、自分だけが許されないということを知られ悲嘆にくれます。やがて使者が二人を船に乗せて出発しようとするので、俊寛はせめて九州までもと纏(もろもろ)にすがりつき、必死の思いで乗船を願いますが、舟人はそれを振り切つて舟を出し、悄然たる俊寛を残して舟影も人影も消えて行きます。

# 第二部

15時30分開演(15時00分開場)

17時00分頃終演

## 狂言 磁石

シテすっぱ 山本泰太郎

アド 見付の者 山本凜太郎  
アド 亭主 山本 則孝

ツレ 平重衡 岡本 房雄

シテ 千手前 田邊 哲久

## 能 千手

ワキ 狩野介宗茂 則久 英志

大鼓 柿原 弘和  
小鼓 鶴澤洋太郎

笛 成田 寛人

後見 勝海 登  
観世 恭秀

地謡 寺井 千景 北浪 貴裕  
高梨 万里 津田 和忠  
金子 聡哉 武田 尚浩  
新江 和人 木原 康之

◇ あらすじ

## 狂言 磁石 (じしゃく)

遠江国見付の宿の男(アド)が都へ向かう途中、近江国大津坂本の市ですっぱ(シテ)詐欺師と出会います。すっぱは言葉巧みに男に知り合いですと信じ込ませ、宿屋へ連れて行きますが、そこは人買いの宿だったのです。宿屋の亭主(アド)とすっぱは男を売り買ひする相談を始め、これを聞いた男は慌てて逃げ出しました。追いかけて来たすっぱが太刀を振りかざします。男は、自分は磁石の精だと言いついて……。

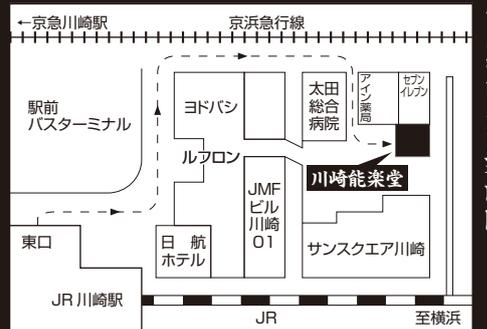
## 宴 シリーズ公演

### 能 千手 野曲之舞 (せんじゅ えいぎょくのまい)

一の谷の合戦に敗れ、鎌倉に送られた平重衡(ツレ)は、狩野介宗茂(ワキ)に預けられ幽囚の身となっていました。若く凛々しい平家の御曹司に少なからず同情を寄せた頼朝の命で、手越ノ宿の長者の娘である千手前(シテ)が遣われ、後幾ばくもない命のつれづれを慰めます。以前から出家を望んでいた重衡は、千手よりその望みが叶わなかったことを告げられ、南都(奈良)の仏寺を焼いた罪業の報いかと嘆きます。千手は酒の酌をし、朗詠をうたい、舞を舞って重衡の心中を思いやると、回想に沈んでいた重衡も興にのって琵琶をとり、千手も琴を合わせてつかの間の小宴を楽しみます。しかしやがて夜が更けると、重衡は都へ送り返されることとなり、千手はその後ろ姿を涙ながらに見送るのでした。

2025年度の「宴」シリーズでは、年間3公演を通して、能に映し出される「宴」の諸相をお届けします。第三弾では「俊寛」「千手」を上演。事前講座では、各演目と宴の関わりを紐解きます。

## 川崎能楽堂 座席表 (148席)

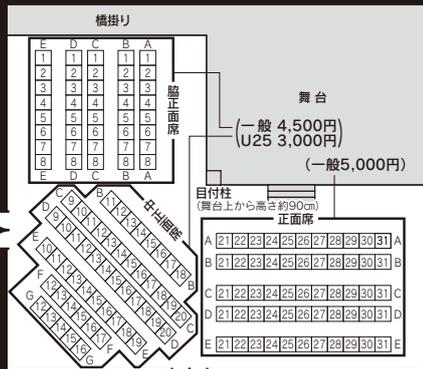


JR川崎駅東口より徒歩5分  
■アクセス (JR川崎駅まで)  
品川駅より約9分 | 横浜駅より約8分  
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。  
川崎能楽堂 (9:00~17:00 ※水曜定休日)  
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37  
TEL. 044-222-7995 FAX. 044-222-1995



## 川崎能楽堂 次回公演のお知らせ

人間国宝の続演  
友枝昭世と山本次郎の至芸  
開催日: 2026年5月3日(祝) 14時00分開演  
会場: 川崎市麻生市民館ホール  
演目: 狂言「花子」山本東次郎 / 能「鬼界島」友枝昭世  
解説: 馬場あき子  
第五回 川崎大師新能  
開催日: 2026年6月9日(火) 17時30分開演  
会場: 大本山川崎大師平間寺特設舞台(開演: 信使会館)  
第一三八回 川崎市定期能(観世流鏡仙会)  
開催日: 2026年7月予定  
会場: 川崎能楽堂  
チフト発売: 5月下旬予定  
※都合により日時、内容、出演者等変更になる場合がございます。ご了承ください。



\*U25券は臨正面席・中正面席のみ選択可。  
購入時に身分証明書をお持ちください。  
\*C列、E列は前の列より一段高くなっています。  
\*中正面席の前には目付柱(舞台上から高さ約90cm)があり、座席によっては少し見えにくい場合がございます。